

2025年度

ニチキッズ新三郷保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月6日（火）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月24日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、日々保育の振り返りを行うことで、発達に合わせた活動を取り入れながら、おもいっきり全身を動かし、いきいきと過ごすことができる環境を提供することができた。
子どもの発達援助	子ども同士の関わりを見守りながら、気持ちを受容したり、寄り添ったりし相手にも気持ちがあることを伝えながら配慮することができた。
保護者に対する支援	日々の連絡帳や送迎時に保育園での様子を共有し、成長した喜びを分かち合うことができた。また、個人面談をすることで、家庭と保育園での様子を共有し、子どもの共通理解を図ることができた。
保育を支える組織的基盤	外部研修や園内研修に参加した際は、職員間で共有したことで全職員の保育への意識を高まった。子ども主体の保育を意識しながら、新しい取り組みを計画しながら、子どものやってみようという気持ちを養うことができた。

総評
園生活での様子を運動会や生活発表会を通して、保護者の方に伝えることができた。また、希望者には保育参観や個人面談を実施することで、子どもの様子を共有し合い、保育士と保護者の相互理解を深めることができた。行事や食育活動では、四季を感じることができ、戸外で全身を使っておもいっきり遊ぶ日を多く設けることで、他児と手を繋いで歩くことの楽しさや異年齢児との関わりを持つことができた。日々、職員間で保育の振り返りをする中で、子ども主体の保育を常に念頭におき、寄り添える保育を目標に子どもが健やかに成長できる環境づくりを意識しながら業務に携わることができた。